

2025年度 北見藤高等学校シラバス

| 【教科】 【科目】 | 【国語】【文学国語】 | 2年 | 2単位 | 教科書 | 文学国語 (数研出版) | 副教材等 | | 履修対象・ 使用教室 等 | 2年（選択） 特別教室 6 | | |
|-------------------------------|---|----|-------------------|--|----------------|-------|--|-----------------|-----------------------------|---------------|--|
| 教科・ 科目の 目標 | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （２）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | | | | | | | | | | |
| 評価の 観点 | 知識・技能 | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に取り組む態度 | | | | |
| | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 | | | 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | | | 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。また、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 | | | | |
| 評価 方法 | ＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「５段階の評定」とする。 | | | | | | | | | | |
| 評価資料・ 評価 比重 〔100点換算〕 | 評価資料等 | | 予定回数・内容等 | | | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| | 単元テスト・課題 | | 単元ごと | | | 40 | | 60 | | 25 | |
| | 提出物 | | おおむね授業ごと | | | 60 | | 40 | | 25 | |
| | ふりかえり | | 授業ごと | | | | | | | 50 | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | 〔観点別配分％〕 | | （３観点の比重を％で示しています） | | | | | | | | |
| 月進行 〔計画〕 | 【単元名】 学習項目名 | | 配当 時間 〔計画〕 | 学習内容・目標（到達点） など | | | 主な評価資料 | | 評価の重み付け〔◎○〕 知・技 思・判・表 態度 | | |
| 4 5 | 平成の小説/無用の人 | | 10 | ・「私」の人物像を整理する。 ・「私」の心情変化をまとめる。 ・「私」は「父」の人生がどのようなものであったと考えているかを説明する。 ・「私」の「父」を指す「無用の人」という言葉はどのような意味で用いられていると考えられるかを説明する。 | | | 単元テスト・課題 提出物 ふりかえり | ○ ◎ ○ | ◎ ○ ◎ | ○ ○ ◎ | |
| 6 7 | 山月記 | | 10 | ・本文全体から、虎になる前の李徴の人物を簡潔書きで整理し、文章でまとめる。 ・李徴自身は、自分が虎になったのはなぜだと考えているかをまとめる。 ・作者がこの作品を人間が虎になるという設定にしたのはなぜかを考える。 | | | 単元テスト・課題 提出物 ふりかえり | ○ ◎ ○ | ◎ ○ ◎ | ○ ○ ◎ | |
| 8 9 | 詩歌/小諸なる古城のほとり 詩歌/永訣の朝 | | 10 | ・「雲白く遊子悲しむ」の悲しみの内容はどのようなものかを説明する。 ・詩を音読し、そのリズムや文語体になどどのような印象を受けたかを話し合う。 ・「兜率の天の食」は「天上のアイスクリーム」とあったものが後に書き換えられた表現だが、このことによって読者が受けるといふようになるかを説明する。 ・「わたくし」の「いもうと」に対する心情変化を整理する。 | | | 単元テスト・課題 提出物 ふりかえり | ○ ◎ ○ | ◎ ○ ◎ | ○ ○ ◎ | |
| 10 11 | 昭和初期の小説/山椒魚 | | 10 | ・山椒魚の心情変化をまとめる。 ・山椒魚と蛙の関係はどのように変化していったかを、それぞれの心情に着目しながらまとめる。 ・この小説を寓意小説と見た場合、人間におけるどのような状況を表しているかを考える。 ・山椒魚の考え方や行動について、どのような感想を持ったかを話し合う。 | | | 単元テスト・課題 提出物 ふりかえり | ○ ◎ ○ | ◎ ○ ◎ | ○ ○ ◎ | |
| 12 1 | 大正の小説/こころ | | 15 | ・「私（＝先生）」のKに対する心情を整理する。 ・Kが用いた「覚悟」という言葉を「私」はどのように解釈しているかを時間の経過に従ってまとめる。 ・「覚悟」という言葉をKはどのような意味で用いたのかを考える。 ・Kの自殺を発見したときの「私」の心情と行動はどのようなものだったかをまとめる。 ・Kの手紙の内容をまとめ、Kの自殺の理由を考える。 | | | 単元テスト・課題 提出物 ふりかえり | ○ ◎ ○ | ◎ ○ ◎ | ○ ○ ◎ | |
| 2 3 | 古典と現代語訳/源氏物語 | | 15 | ・三つの現代語訳には、表現上どのような違いがあるか、原文を参照しつつ、比較の観点ごとに分けてまとめる。 | | | 単元テスト・課題 提出物 ふりかえり | ○ ◎ ○ | ◎ ○ ◎ | ○ ○ ◎ | |
| 学習の アドバイス | ・単元ごとにテスト、あるいは課題を出します。それと日々の授業の取組をもって評価します。授業の時間を大切にしてください。 ・ふりかえりの記述は根気をもって取り組んでください。その日学んだことや感じたことを言葉にすることは大切なことです。習慣化しましょう。 | | | | | | | | | | |